様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月21日

部局等名	教育推進部	課かい名	社会教育課	推進責任者氏名	仲手川　武

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	ファイル、封筒等の事務用品は課内で1か所に集め、容易に再利用できるようにした。廃棄物についても同様に1か所に集めることで分別を徹底した。
	具体的内容	ファイルや封筒、その他事務用品は繰り返し使用する。また、資源のリサイクルのためプラスティックごみや古紙等の適切な分別を徹底する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	ノートパソコンについて、エネルギー使用量を削減するために、長時間使用しないときは電源を切り、離席や休憩などで短時間利用しないときはふたを閉じた。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないときは電源を切り、短時間の離席時はノートパソコンのふたを閉じることを徹底する。	
3	取組項目	E. その他	屋外作業時に熱中症を予防するため、水分や塩分を摂取するとともに、定期的に休憩を取った。
	具体的内容	夏季の屋外作業時は定期的に休憩し、水分・塩分を摂取し、熱中症対策を徹底する。	

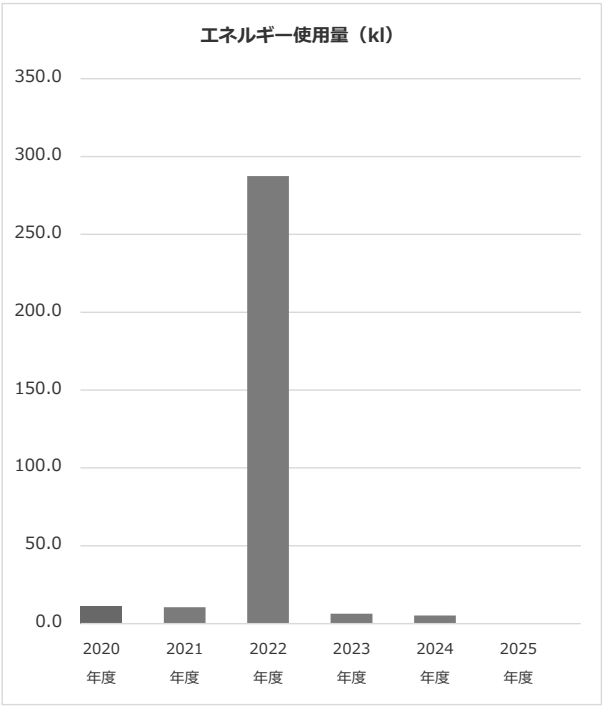
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 −18.1% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	空調や電灯等の使用を最小限とするようにつとめたため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	428.0	410.0	11141.6	249.0	204.0	
エネルギー使用量（kl）	11.0	10.6	287.5	6.4	5.3	0.0
対前年度比（%）	—	**−4.2%**	**2617.5%**	**−97.8%**	**−18.1%**	**−100.0%**

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	梅田文化財収蔵庫	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めました。
2	文化財調査事務所	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めました。
3	0	計画	0
		実績	

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	業務時間内は外出を要する職員が中心であり、担当で集まっての研修実施が困難であったため書面での開催とし、重点取組項目や取組目標について共有した。
法令遵守確認研修	■ 実施	取組目標設定研修と併せて書面で実施し、法令順守を確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	朝礼やチャット等を使い、周知に努めた。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
■ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月21日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
ノートパソコンの利用時以外の対策や空調等の工夫、クールビズの徹底など、エネルギーの使用の抑制に努めた。職員各自の環境への意識の高まりもあり、書面に現れないところでも環境に配慮した行動が見られる。このようなところを踏まえ、各自が環境に配慮した業務を心がけたと評価する。来年度もさらにこの流れを進めていきたい。	情報の共有など、対面でなくともよい場合等においては、チャット等の各自の時間を拘束しないツールを積極的に利用していく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月27日

部局等名	教育推進部	課かい名	南湖公民館	推進責任者氏名	星谷尚央

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	会議資料をロゴチャットで共有し、紙資料を削減しました。利用者懇談会への通知は郵送を減らし、サークルポストやメールを活用しました。
	具体的内容	会議資料をロゴチャットで共有し紙資料を削減。郵送しているりよこんの通知についてサークルポストとメール活用を推進する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	剪定枝を年3回リサイクル施設に搬入し、剪定枝の資源化に努めました。
	具体的内容	クレヨンのアップサイクル等資源を有効活用した講座の実施	
3	取組項目	E. その他	旧萩園市民窓口センターの備品の点活用をしたことで、資源の有効利用及び廃棄物の削減につなげました。
	具体的内容	他の公民館および青少年会館と協力し、事業に必要な物資の貸借・共有・転活等を行う事で節約および資源の有効利用・廃棄物の削減につなげる。	

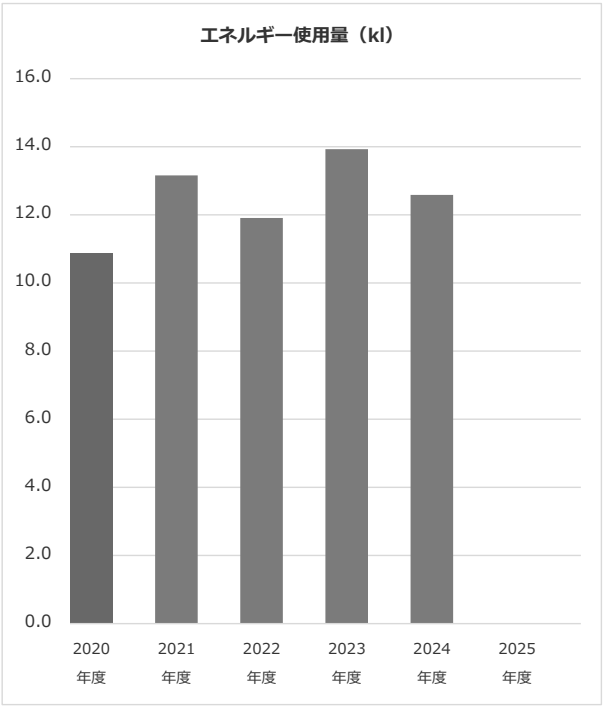
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 −9.6% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	部屋使用後のこまめな消灯や空調の設定温度の利用者への協力依頼、節水などの日々の節約を心掛けたため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	422.0	510.0	461.7	540.0	488.0	
エネルギー使用量（kl）	10.9	13.2	11.9	13.9	12.6	0.0
対前年度比（%）	—	**20.9%**	**−9.5%**	**17.0%**	**−9.6%**	**−100.0%**

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	南湖公民館	計画	自然光を活用し省エネに努める。
		実績	3月にカーテンを買い替えして、室内温度の調整に努めました。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	令和６年５月２９日に実施。当年度の「重点取組項目」について確認するとともに、南湖公民館における取組目標及び具体的な取組を説明した。
法令遵守確認研修	■ 実施	令和６年５月２９日に実施。法令順守事項等の確認をした。
新任・異動者研修	■ 実施	令和６年５月２９日に実施。Ｃ－ＥＭＳの概要を説明した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
夏の猛暑や秋口の暑さ、クーリングシェルターの開設などで空調の使用頻度は増加傾向ではあるものの、部屋使用後のこまめな消灯や空調の設定温度の利用者への協力依頼、節水などの日々の節約を心掛けた。その結果、エネルギ―使用量は前年度比9.6%減となった。11月の訪問監査により再度の環境意識の醸成が図られたとともに、備品の転活用や公民館同士での物品の貸し借りを行うことで資源の有効活用を図った。	クーリングシェルターの開設により熱中症予防にも努めながら、引き続き節電等の節約も進めていく。3月にカーテンの買い替えをしたことで室内温度の調節にも役立てていく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月24日

部局等名	教育推進部	課かい名	社会教育課小和田公民館	推進責任者氏名	浅井　志子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	多くの利用者がウオーターサーバーをマイボトルで使用したことで、ペットボトルの廃棄を削減できた。小さな紙を分別し古紙として収集にまわすことにより、燃やせるごみを削減した。
	具体的内容	ウオーター―サーバーとマイボトルの使用を職員・利用者に呼び掛ける。ごみ分別徹底、小さな紙も分別し燃やせるごみを削減、消耗品等の庁内、地域でのリユース促進	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	敷地内で散水等する場合は、井戸水を活用した。印刷をする際は、両面印刷・集約印刷をし印刷部数の削減をしたほか、不要となったチラシ等の裏面利用を積極的に実施した。
	具体的内容	ペーパーレス化の推進、井戸水での散水、両面印刷・集約印刷・裏面利用を徹底、資料の減量化を徹底する。	
3	取組項目	E. その他	直射日光が当たる事務室の窓にゴーヤのグリーンカーテンをし、クーラーの設定温度を高くすることが出来た。一方で、ロビーは「クーリングシェルター」となっているため、ロビーに利用者がいなくても常時クーラーを入れる状態となった。
	具体的内容	グリーンカーテン育成、職員及び利用者への水分摂取及び帽子日傘の使用の呼びかけ熱中症予防を行う。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

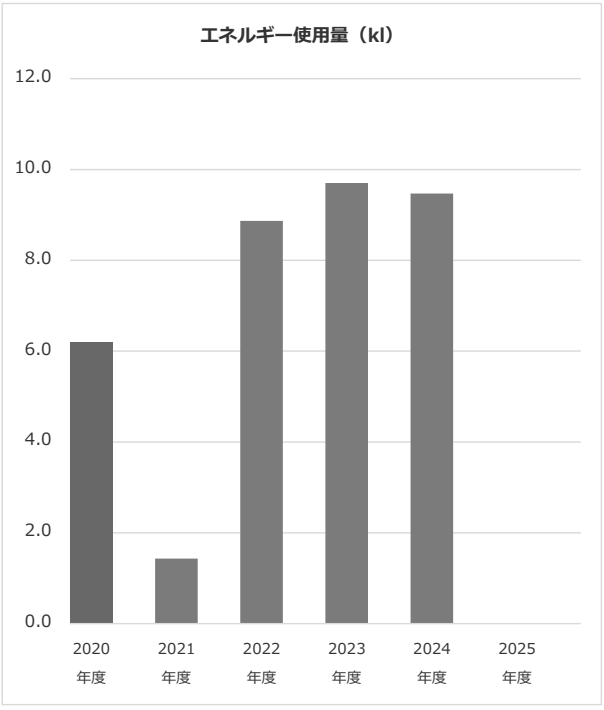
実績	前年度比 −2.4% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	各室に扇風機を常設し、エアコンと併用することで、適正な設定温度で運用できたこと。ロビーや事務室等の照明を、自然光を活用し、消灯を心がけたこと。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	240.0	55.6	343.8	376.0	367.0	
エネルギー使用量（kl）	6.2	1.4	8.9	9.7	9.5	0.0
対前年度比（%）	—	**−76.8%**	**518.3%**	**9.4%**	**−2.4%**	**−100.0%**

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	小和田公民館	計画	各室に扇風機を設置、扇風機併用でのエアコン適正使用を、張り紙及び口頭で利用者に依頼
		実績	各室に扇風機を設置し、扇風機併用でのエアコン適正使用を呼び掛けた。
2	小和田公民館	計画	ロビー、事務室等の照明は自然光で十分な時間は、消灯する。
		実績	ロビー、事務室等の照明は自然光で十分な時間は、消灯した。
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月6日（木）の館内会議において実施（職員、社会教育嘱託員全員参加）、夜間管理業務員4名については、連絡ノートで知らせて、各出勤日に説明
法令遵守確認研修	■ 実施	6月6日（木）の館内会議において実施（職員、社会教育嘱託員全員参加）、夜間管理業務員4名については、連絡ノートで知らせて、各出勤日に説明
新任・異動者研修	（選択してください）	
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年6月3日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エコオフィス行動ルールの取組目標については、職員全員に共有し徹底して取り組むことができた。全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標については、エネルギー使用量が前年比－２．４%削減であった。年間を通して職員自身が節電に取り組むだけでなく、館全体で節電に取り組んだ成果だと認識している。	公民館のロビーが令和6年度より夏のクーリングシェルターとなったことにより、ロビーが無人でもクーラーを完全に切ることができないなど、節電への取り組みが難しくなってきている。 引き続き、職員全員で目標を達成できるよう取り組んでいきたい。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月21日

部局等名	教育推進部	課かい名	社会教育課鶴嶺公民館	推進責任者氏名	荒　名穂子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	館内の情報共有や伝達事項をLogoチャットで行い、電子化、ペーパーレス化を実施した。
	具体的内容	館内での情報共有は、可能な限り電子化する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	花壇等への水やりは雨水を使用した。
	具体的内容	散水用水等に可能な限り雨水を使用する。	
3	取組項目	E. その他	夏季に、ゴーヤで作ったグリーンカーテンでロビー南側窓を覆い、室温上昇を防いだ。
	具体的内容	建物の温度上昇抑制を図るためグリーンカーテンを育成する。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

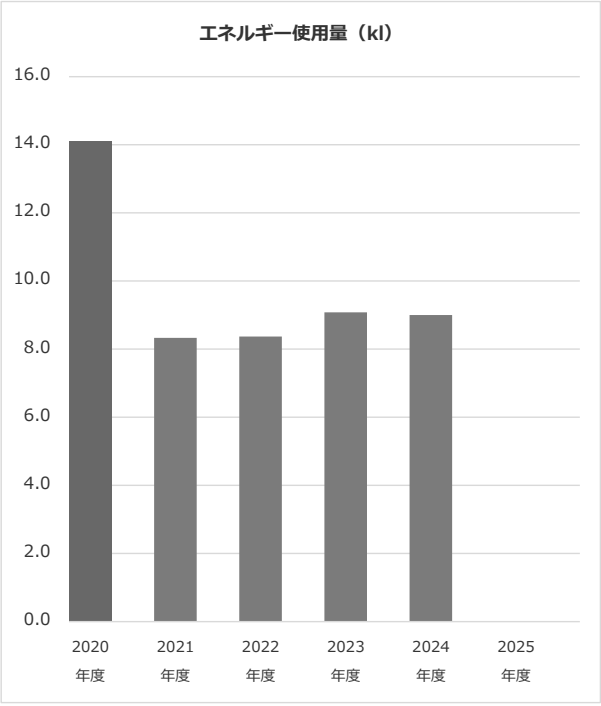
実績	前年度比	−0.9% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	職員及び施設利用者が省エネ活動を積極的に取り組んだため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	547.0	323.0	324.3	352.0	349.0	
エネルギー使用量（kl）	14.1	8.3	8.4	9.1	9.0	0.0
対前年度比（%）	—	**−41.0%**	**0.4%**	**8.5%**	**−0.9%**	**−100.0%**

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	鶴嶺公民館	計画	室内機のフィルターや室外機のフィンコイルの清掃をそれぞれ年2回実施する。
		実績	室内機のフィルターや室外機のフィンコイルの清掃をそれぞれ年2回実施した。
2	鶴嶺公民館	計画	施設利用者へ空調、照明利用に係る省エネ活動について協力の声掛けを実施する。
		実績	利用者懇談会にて、空調、照明利用時の省エネ活動についての協力を依頼した。
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月６日の職員会議時に実施（対象者６名中６名参加）。 C-EMSの概要と当年度の取組目標を確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	６月６日の職員会議時に実施（対象者６名中６名参加）。法令順守確認事項を確認した。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月21日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
令和6年度から炎天下かけこみスポット(クーリングシェルター)に指定され、エネルギー使用量(GJ)の大幅な増加が見込まれましたが、職員、施設利用者で省エネ活動に取り組んでいたことが功を奏し、「全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標」を対前年度比で微減することができた。	今後も、施設利用者の協力のもと、省エネ活動に取り組んでいく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月30日

部局等名	教育推進部	課かい名	松林公民館	推進責任者氏名	西山　昭一

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品を計画的に管理して廃棄物を減らすとともに、再利用に努めた。 コピー用紙の裏面再利用及びフラットファイルの再利用を徹底した。 上記取組により、廃棄物削減効果がありました。
	具体的内容	事務用品を計画的な管理と再利用を図る。 再利用品についても本当に利用する機会があるかを確認しながら、精査して受け取る。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	利用していない部屋については、消灯を徹底した。 職員の1人1台パソコンについては、使用していない時は電源を切り、離席時はパソコンの蓋を閉じるようにした。
	具体的内容	館内の不要な照明については、消灯する。 長時間離席する際は、PCをスリープモードにする。	
3	取組項目	E. その他	グリーンカーテンをロビーの窓の外に設置することにより、建物（施設）の温度上昇を抑制することが出来た。
	具体的内容	グリーンカーテンの育成により、建物の温度上昇抑制を図ります。	

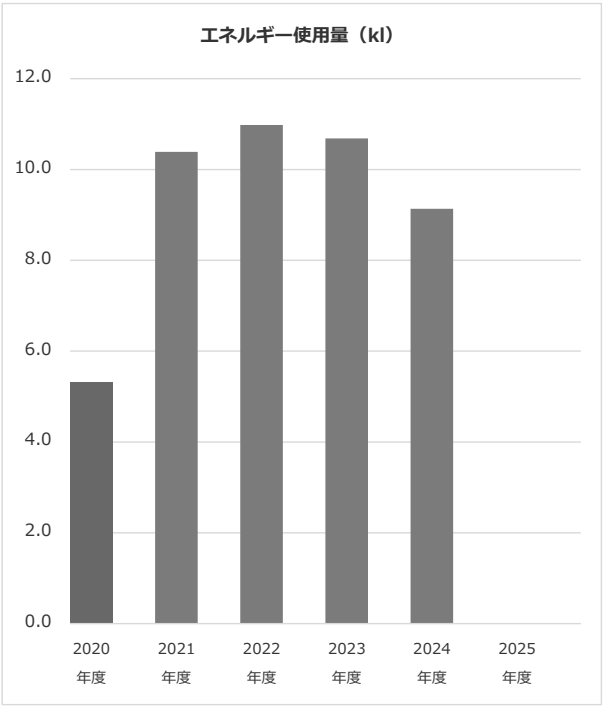
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　−14.5% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	離席時はパソコンを閉じたり、スリープモードにしたり、館内の不要な箇所の電気を消す等、職員が意識して行動した。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	205.9	402.6	425.6	414.2	354.0	
エネルギー使用量（kl）	5.3	10.4	11.0	10.7	9.1	0.0
対前年度比（%）	—	**95.5%**	**5.7%**	**−2.7%**	**−14.5%**	**−100.0%**

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	松林公民館	計画	空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2	松林公民館	計画	施設利用者への空調、照明利用の省エネ利用の声掛け
		実績	各部屋に省エネ協力の依頼事項を掲示した。
3	0	計画	0
		実績	

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	５月２２日に実施。６名中６名参加。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	５月２２日に実施。６名中６名参加。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。法令遵守確認研修
新任・異動者研修	■ 実施	５月２２日に実施。対象者２名参加。 C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
職員の1人1台パソコンについては、電源を切ったり、蓋を閉じてたりして節電をすることが出来た。 印刷については、両面印刷や2アップ印刷、使用済み用紙の裏面利用を徹底することにより、会議資料等の削減を図りました。 庁内間での事務連絡では、使用済み封筒を利用し、フラットファイルやその他事務用品についても再利用を徹底することにより、廃棄物の削減を図りました。 今後も引続き、節電や廃棄物の削減について活動を継続してまいります。	今後も職員１人１人が環境に配慮し、廃棄物の削減やエネルギー使用量の削減、資源の有効活用を積極的に推進し、全体的な排出量の削減に繋げてまいります。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月30日

部局等名	教育推進部	課かい名	香川公民館	推進責任者氏名	松下　晃久

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	課内会議にて廃棄物削減について周知し、封筒の再利用やゴミの分別を徹底した。
	具体的内容	封筒など事務用品を繰り返し利用する。ごみの分別を徹底する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	フリースペースの利用状況をこまめにチェックし、利用者がいないときは消灯するようにした。また、パソコンについても、昼休憩など長時間席を外す際は、スリープモードにするよう職員全員で心がけた。
	具体的内容	使用していないフリースペース等の電気をこまめに消灯する。長時間席を離れるときはパソコンの電源を切る。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	資料の印刷など、両面印刷や2アップ印刷を徹底した。また、紙媒体を前提で行う事務について、職員会議にて意見交換を行い、業務改善につなげた。
	具体的内容	印刷時に両面印刷や2アップ印刷を徹底する。紙媒体を前提としている事務について、見直すことができないか意見交換する。	

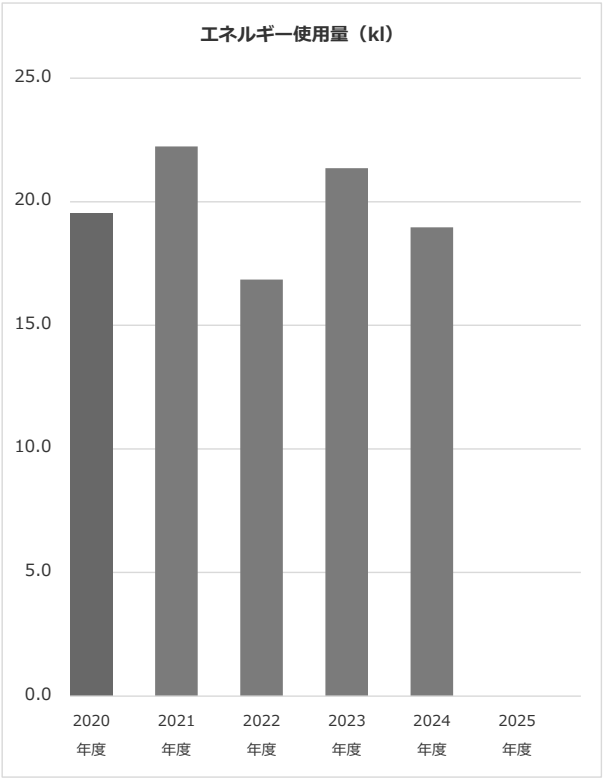
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　-11.2% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	図書館分館含む館全体で省エネに取り組んだため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	757.0	862.0	653.3	828.0	735.0	
エネルギー使用量（kl）	19.5	22.2	16.9	21.4	19.0	0.0
対前年度比（%）	—	13.9%	-24.2%	26.7%	-11.2%	-100.0%

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	施設内空調設備	計画	施設利用者へ空調及び電気利用の際の省エネ協力を依頼する。
		実績	利用調整日など、多くの利用者が集まる場を通じて、空調及び電気利用の際の省エネ協力を呼びかけた。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月20日の職場会議の中で実施。「C-EMSの概要」を説明し、「廃棄物の削減」「紙の使用量の削減」について意見交換を行った。
法令遵守確認研修	■ 実施	上記研修と同時に実施。
新任・異動者研修	■ 未実施	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
当館はクーリングシェルターに指定されている施設でもあり、担当課から要請のあった期間中、ロビー(フリースペース)の空調は稼働したままとなった。貸室の空調は、利用のない時間帯に運転したままにならないよう注意した。ゴミの分別は館内で徹底して行い、裏紙使用や両面印刷を積極的に行った。また職員だけでなく、利用者へ施設利用時における消灯確認等の協力を呼びかけ、節電に努めた。	資源の有効活用については、引き続き行う。また、施設の性質上、年配の利用者が多く、特に冷房については夏季に入る前から運転を求められることが多いが、エネルギー使用量への影響を常に念頭に置きながら協力を呼び掛けていく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年 5月 23日

部局等名	教育推進部	課かい名	青少年課	推進責任者氏名	鈴木 俊也

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	備品の再利用を徹底し、ごみの削減を実施した。 プラごみ、紙ごみは分別を行い、廃棄物の削減を実施した。 継続して、実施できるよう職員への周知徹底を行う。
	具体的内容	ファイルや封筒、事務用品を繰り返し利用する。ゴミの分別（プラごみ、紙資源）を徹底する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	パソコンを利用しない時間は、スリープモードに切り替えた。 使用していない電気は切り、節電を心がけた。 継続して、実施できるよう職員への周知徹底を行う。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しない時は電源を切る、短時間の離席時にはふたを閉じる。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	ペーパーレス化の推進を行い、電子申請を積極的に進めた。 今後はできる会議からオンライン会議へ以降し作成する資料を電子化できるようにする。
	具体的内容	電子メール、logoチャット等を活用し、ペーパーレス化を推進する。印刷する際には両面印刷や集約印刷を積極的に活用する。	

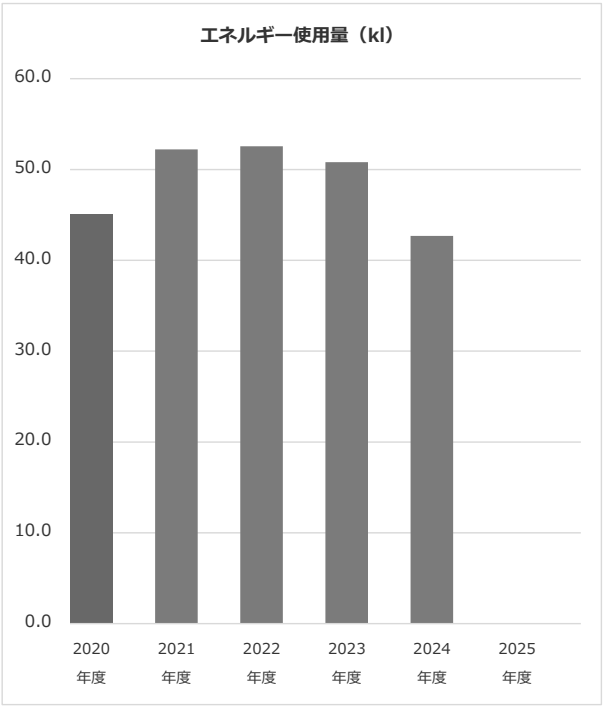
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 −16.0% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	所管施設運営の事業者の省エネ意識の高まりと登所人数に合わせた照明・空調利用の見直しを行い使用量の削減ができた。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	1749.0	2023.5	2036.8	1969.3	1655.0	
エネルギー使用量（kl）	45.1	52.2	52.5	50.8	42.7	0.0
対前年度比（%）	—	**15.7%**	**0.7%**	**−3.3%**	**−16.0%**	**−100.0%**

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	公設民営児童クラブ（25施設）	計画	登所人数に応じた空調・照明利用を心がけるよう依頼する。
		実績	計画の通りに実施できたことにより、エネルギー削減が達成できた。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 未実施	6月26日に実施予定。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」と「取組目標」及び具体的な取組を確認予定。
法令遵守確認研修	■ 未実施	上記研修と同時に実施予定。
新任・異動者研修	■ 実施	10月1日の異動者が2名おり、実施内容の共有を行った。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
■ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
コロナ禍の後、エネルギー使用量が増加傾向を示してましたが、児童クラブ指定管理者の努力もあり、対前年度比で16%の減少を実践しています。	引き続き、指定管理者にC-EMSに配慮した運営を心がけるよう働きかけていきます。 また、体験学習センターに指定管理者制度を導入したことから、令和7年度以降は青少年課のC-EMS実施計画書兼ふりかえり表に加えた形で記載することとします。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月23日

部局等名	教育推進部	課かい名	青少年課	推進責任者氏名	鈴木　俊也

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	庁内にチラシなどを配布する際、繰り返し使用できるファイルを使用している。
	具体的内容	ファイルや封筒、事務用品を繰り返し利用する。ゴミの分別（プラごみ、紙資源）を徹底する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	使っていない部屋の電気、エアコンをOFFにする。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しない時は電源を切る、短時間の離席時にはふたを閉じる。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	社員、スタッフのスケジュールはネット内とホワイトボードで共有し、ペーパーレス化を推進している。
	具体的内容	電子メール等を活用し、ペーパーレス化を推進する。印刷する際には両面印刷や集約印刷を積極的に活用する。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

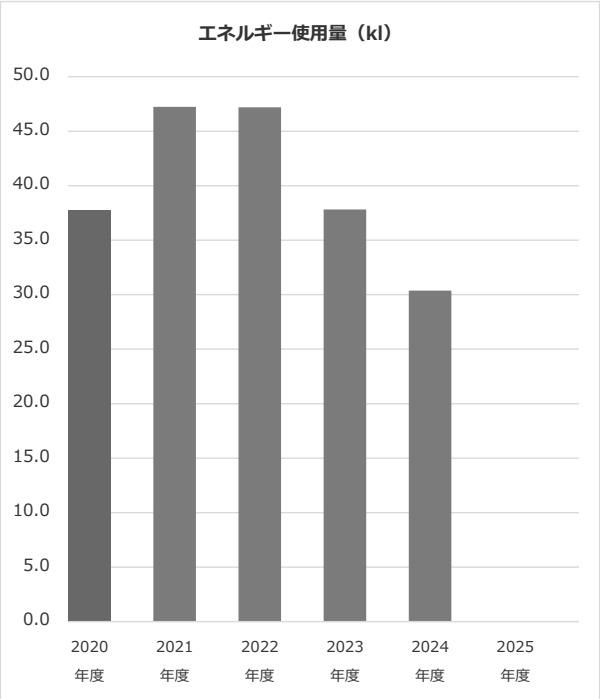
実績	前年度比 −19.7% %	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由	夜間の全熱交換器の稼働状況を見直すことで電気使用量が下がり達成することができた。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	1465.0	1831.0	1829.0	1466.0	1177.0	
エネルギー使用量（kl）	37.8	47.2	47.2	37.8	30.4	0.0
対前年度比（%）	—	**25.0%**	**−0.1%**	**−19.8%**	**−19.7%**	**−100.0%**

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	施設内空調設備	計画	空調室内機、全熱交換機フィルターの清掃を3か月に1回以上実施する。
		実績	6月、9月、12月、3月に実施
2	新オリーブ広場周辺の雨水排水設備	計画	大雨注意報・警報発令時等に、雨水槽及び側溝内に溜まっている松葉や樹皮等を除去する。
		実績	定期的に清掃するほか、大雨予報の際には事前に点検を実施
3	0	計画	0
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 未実施	6月26日に実施予定。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」と「取組目標」及び具体的な取組を確認予定。
法令遵守確認研修	■ 未実施	上記研修と同時に実施予定。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
■ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
令和6年4月から指定管理者制度を導入した後も「C-EMS」に対する取り組みが継続され、エネルギー使用量が削減されています。	引き続き、指定管理者にC-EMSに配慮した運営を心がけるよう働きかけていきます。 また、指定管理者制度を導入したことから、令和7年度以降は青少年課のC-EMS実施計画書兼ふりかえり表に加えた形で記載することとします。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月30日

部局等名	教育推進部	課かい名	青少年課青少年会館	推進責任者氏名	中原　英子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	施設内の備品を確認し、使用しないものは転活用するために庁内に周知しました。 利用者用のごみ箱は自動販売機用以外は設置せず、ごみの持ち帰りを促す掲示を行いました。執務室に回収日の掲示を行い、事前配布された指定ゴミ袋の範囲での排出となりました。
	具体的内容	マイバック・マイボトルを使用し、廃棄物の削減を目指します。施設内で不要な備品が出た場合は、庁内へ転活用を呼びかけます。利用者用のゴミ箱は設置せず、ゴミの持ち帰りを促す表示を掲示し、館全体で廃棄物削減に取り組みます。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	職員間での共有事項はLogoチャットで行い、PCが使えない職員のみ紙での共有を図りました。両面印刷・縮約印刷・裏紙利用・エコ印刷を徹底して行いました。
	具体的内容	職員間での共有事項はLoGoチャットを活用し、PCが使えない職員は紙で共有を行います。紙で印刷が必要な場合は、両面印刷や縮約印刷、裏紙の利用やエコ印刷を徹底して行います。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	各諸室の空調の使用と温度の管理をするため集中管理としました。集中管理と節電への協力についてのポップを表示し、施設全体で節電対策に取り組みました。エコオフィス行動ルールによる温度設定を設け、施設利用者が安全に活動できる室温管理を行いました。
	具体的内容	エコオフィス行動ルールにより、夏季は25～28度、冬季は18～20度を目安に設定し、施設利用者が安全に活動できるよう室温管理を行います。	

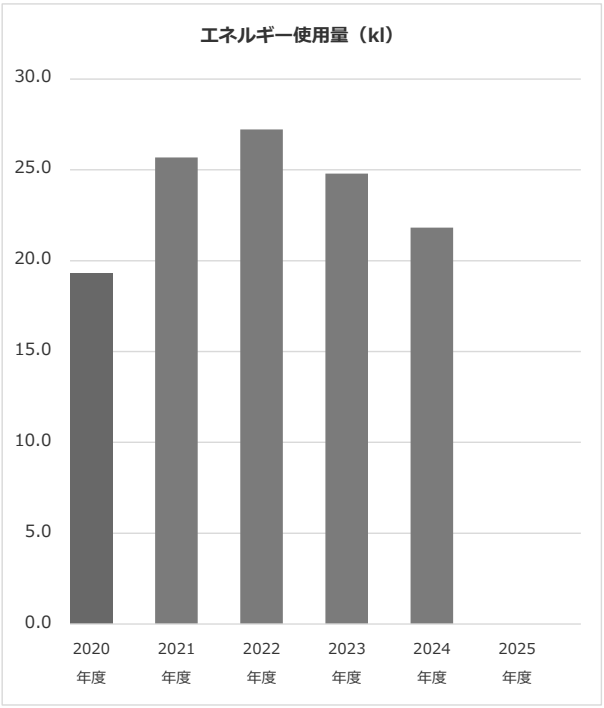
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　−12.0% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	空調の使用と温度の管理をするため集中管理とし、集中管理と節電への協力についてのポップを表示した。施設全体で節電対策に取り組み、エネルギー使用量を削減できたため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	748.9	995.3	1055.3	961.0	846.0	
エネルギー使用量（kl）	19.3	25.7	27.2	24.8	21.8	0.0
対前年度比（%）	—	**32.9%**	**6.0%**	**−8.9%**	**−12.0%**	**−100.0%**

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	青少年会館	計画	空調設備点検を年2回実施します。
		実績	5月及び11月に実施しました。
2	青少年会館	計画	施設利用者へ空調や換気、照明利用の省エネを呼びかけます。
		実績	節電の呼びかけのポップを設置し、利用者へ省エネを呼びかけました。
3	0	計画	0
		実績	

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	省エネの取り組みを館全体で行う事を共有した。夜間管理業務員がこの会議に参加していないため、別で共有した。
法令遵守確認研修	■ 実施	7月の全体会議で実施した。
新任・異動者研修	（選択してください）	
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和7年5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
「エコオフィス行動ルール」の取組目標は達成されており、研修等についても実施いたしました。 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標についても、前年度に引き続き目標を達成（対前年度比−12.0%）しました。	引き続き法令を遵守しながら、エネルギー削減に努めます。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 7年 5月21日

部局等名	教育推進部	課かい名	図書館	推進責任者氏名	高木 直昭

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	昨年度に引き続き、執務室内に資源ごみの分別場所を用意し、分別の徹底を推進した。備品についても、本館・分館・分室で不要となったものを他館で使用したり、不具合のあるものは職員が修繕し、、廃棄物の削減につなげた。事務用品については分室を含めた計画的な管理が必要であると感じた。
	具体的内容	執務室内等ごみ箱の分別場所を職員全員で再確認し、分別を徹底する。また、消耗品や備品の再利用や転活により、廃棄物の削減に努める。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	パソコンのこまめな電源オフや省エネモードなどを徹底し、退館時にはコンセントを抜くことで、不要なエネルギー使用量の削減に努めた。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないときの電源オフや短時間の離席時はノートパソコンのふたを閉じることを徹底し、不要なエネルギー使用を削減する。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	長距離や荷物運搬以外での公用車の使用を控え、徒歩や自転車での移動に努めた。公用車運転時には、不要なエネルギー使用にならないようエコドライブに努めた。
	具体的内容	徒歩や共用自転車の利用を優先し、移動時の距離や公務の内容を踏まえた交通手段を選択する。また、公用車運転時にはエコドライブに努める。	

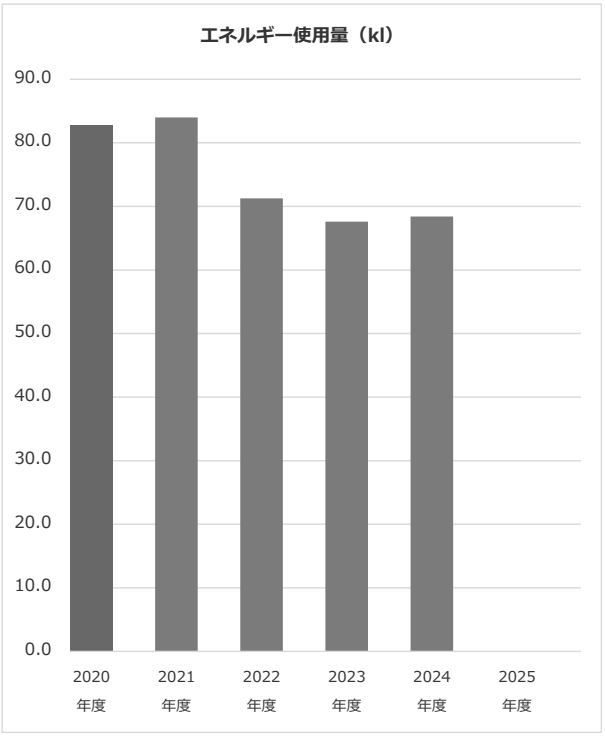
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 1.2% %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	昨年度同様、利用者や職員の健康への配慮、その日の気温など様々な視点で空調の使用を心掛けたが、夏季・冬季の気温により空調管理をせざるを得なかったことに起因するものと考える。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	3208.0	3254.9	2762.1	2619.9	2652.0	
エネルギー使用量（kl）	82.8	84.0	71.3	67.6	68.4	0.0
対前年度比（%）	—	1.5%	-15.1%	-5.1%	1.2%	-100.0%

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	図書館	計画	空調機器（冷温水発生機）の温度設定の定期的な見直し
		実績	冷温水機の保守点検時に業者に確認し、定期的な見直しを図ることができた。
2	図書館	計画	掲示などにより、施設利用者への空調、照明利用の省エネ協力の呼びかけ
		実績	掲示により施設利用者へ協力を呼び掛け、一定の協力や理解を得たものの、夏季・冬季においては来館者の健康管理を踏まえた使用を優先せざるを得ない状況だった。
3	0	計画	0
		実績	

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月２０日(木)図書整理日(図書館閉館日)に、C-ＥＭＳの概要(一度５月２８日の研修資料は供覧済み)と今年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組について説明した。
法令遵守確認研修	■ 実施	６月２０日(木)図書整理日(図書館閉館日)に、「取組目標設定研修」と共に実施。図書館にはフロンを使用した機器があるため、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に関し、フロン類算定漏えい量等の報告等（法第19条）等の義務があることについて情報共有した。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和　7年　5月21日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
目標に対して、職員一人一人が日々意識し、適切な空調管理に努めてきたところではあるが、夏季・冬季の気温により、利用者や職員の健康状態への配慮が必要な状況であったため、空調の使用による影響が生じ、前年度よりエネルギー使用量が増加したものと考えている。 また年度途中に三方弁の故障が判明したが、年度内の流用により修繕を行ったことから、エネルギー使用量に大きな影響はもたらさなかったものと考える。	使用せざるを得ない空調のエネルギー使用量からすると、職員一人一人ができる省エネに対する行動に限界を感じるところではあるが、今後も引き続き適切な空調管理や日々の取組に努めていきたい。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月30日

部局等名	教育推進部	課かい名	博物館	推進責任者氏名	須藤　格

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	消耗品等を購入する場合は、倉庫に在庫がないかを確認してから発注するよう努め、重複した購入を回避した。より適切な在庫管理を目指すため、在庫をより視認しやすくするために倉庫の整理を進めていきたい。
	具体的内容	物品などは、計画的に購入し、適切な在庫管理を行います。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	こまめなパソコンの電源管理およびプリンタやコピー機の節電モード設定、退勤時の各電子事務機器の主電源オフについて習慣化を心がけた。また、使用しない諸室の照明を落とすことに務めた。
	具体的内容	パソコンを長時間使用しないときは、電源を切り、プリンターやコピー機の使用後は節電ボタンを押すなどして節電に努めます。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	紙での回覧等は最低限にとどめ、ロゴチャットやメール等を活用し、情報共有に務めた。以前に引き続き各電子の広報媒体を活用し、博物館の広報を行った。また、現在準備を進めている博物館資料の収蔵品管理システムへの登録をさらに今後進めていく。
	具体的内容	紙で提供する必要のない情報や資料等はなるべく電子化して共有し、紙への出力の際は裏紙を活用するよう努める。	

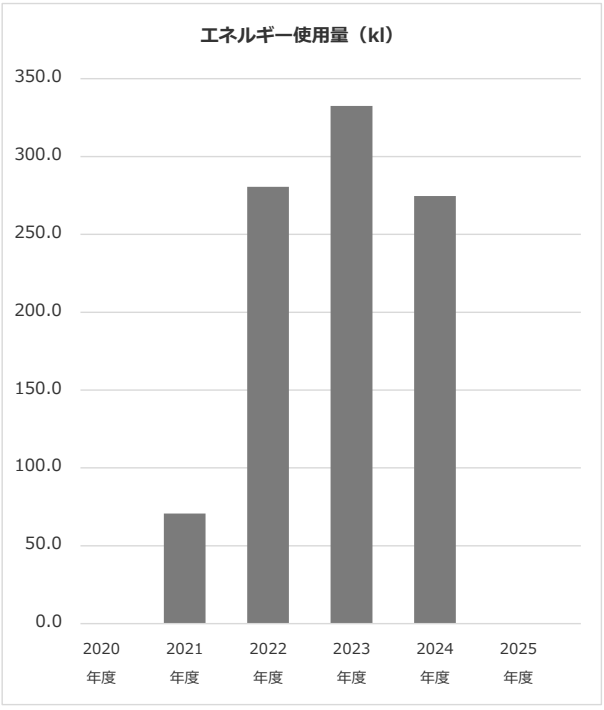
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比	−17.4% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	博物館は収蔵資料の適切な保存管理のため空調機器の運用に多くのエネルギーを要しているが、2024年度は冬季の温湿度等の影響による削減が図られたと考えられる。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	0.0	2743.0	10876.4	12890.2	10643.1	
エネルギー使用量（kl）	0.0	70.8	280.6	332.6	274.6	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	296.5%	18.5%	−17.4%	−100.0%

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	博物館	計画	空調機設備・熱源機の起動時刻、設定温度・湿度の適正化に努めます。
		実績	計画どおり、適正な運用を行いました。
2	0	計画	0
		実績	
3	0	計画	0
		実績	

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月12日等で書面開催した。 C-EMSの概要と6年度の「重点確認項目」について確認するとともに、取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	取り組み目標設定研修と同時に実施、博物館という施設にとって必要ような法令遵守事項について確認した。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 7年 5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
空調等の機械設備を適切に管理し運用するとともに、消耗品等の使用について問題があった点については、職員の環境活動対する認識を変え、意識づけが必要である考える。C-EMSの推進に際に、職員の環境意識への意識付けを引き続き行っていく必要がある。	空調機器の点検等を適切に行い、確実かつ管理・運用を引き続き行うとともに、庁内の他部局や民間企業等でのエコオフィスなどの環境の取り組みを職場で情報共有し、各職員が自発的かつ主体的に取り組む意識付けと職場環境を醸成することに取り組む。